



第41号

大津町  
議会だより

平成19年8月1日

Ōtsu

ガイドライン  
6月定例議会

定例会総括 ..... 2

委員会レポート ..... 3

「町政を問う」一般質問（8人）  
..... 4～11

発行/大津町議会  
編集/議会広報編集特別委員会  
〒869-1233  
熊本県菊池郡大津町大字大津1233  
☎(096) 293-3111

キンポウジュ



## 6月定例会

## 国保税最高限度額

53万円から56万円に

## 母子家庭医療費助成

## ひとり親家庭に拡大

6月定例会を8日から15日までの8日間の会期で開きました。

今議会は、7件の「専決処分」の報告、議案が提出され、国の税法改定にともなう町税条例の改正などを全員賛成、一部賛成多数で承認しました。

町税条例の改正のなかで、高齢者などの住宅改修（バリアフリー）を行った場合に固定資産税を1年間1/3減額できることになりました。

国民健康保険税の最高限度額が53万円から56万円に引きあがります。

町母子家庭医療費の助成に関する条例改正では、対象者をこれまでの「母子家庭」から「ひとり親家庭など」に拡大するもので、父子家庭や父母のいない児童も対象になります。

専決処分による条例改

正は、4月1日から施行されます。

19年度各会計の補正予算は、職員の人事異動に伴う人件費補正が主なものです。また、衆議院補欠選挙費用が198万円増額となり、補正予算など6件の議案は全員賛成一部賛成多数で可決しました。

追加議案として町教育委員会委員の西本昭介氏の辞任にともない、新しく井野美幸氏の任命に全員賛成で同意しました。また人権擁護委員として伊東祐紀氏、阪田良一氏を推薦することに同意しました。

一般質問は、8人が行いました。

## 人事紹介

(敬称略)

## 教育委員会委員

(新)

○氏名 井野 美幸 (45歳)  
住所 大津町森七五二一八

## 人権擁護委員

(新)

○氏名 伊東 祐紀 (64歳)  
住所 大津町大津一一〇二  
○氏名 阪田 良一 (60歳)  
住所 大津町外牧四三二

国民年金記録は  
保存されています

国民の年金掛け金が誰の掛け金か分からない問題で、国民の不安と不信が広がっています。

町が徴収記録していた国民年金の納付記録は、役場で保存しています。年金支給の窓口は社会保険事務所に一本化されていますので、社会保険事務所から問い合わせがあれば、記録を調べ知らせる事となります。



子どもは社会の宝物

# 委員会レポート

## 補正予算・条例等を審議

### 経済・建設

#### 下水道特別会計 補正予算

Q 下水道料金が菊陽町より高い。大津町は不交付団体なのになぜ高いか。

少なくとも同額となるような努力が必要ではないか。

A 下水道事業は、使用料ですべて賄う独立採算が基本。19年度予算の使用料は約3億6000万円。しかし公債費の元利償還金は約6億2000万円であり、現状では使用料で賄うのは困難な状況。

菊陽町との違いは、大津町は処理場を持った単独事業で菊陽町は旧合志町、旧北部町、熊本市とで処理場を持った熊本県流域下水道である。

同じ面積を整備しても人口密度の違いで建設コストや利用人数に違いがある。

(単位円)

下水道料金・口径13ミリ (1ヶ月) 20㎡	
大津町	2,100
菊陽町	1,930
旧合志町	1,540
旧西合志町	1,710
菊池市	3,000
玉名市	3,800
熊本県平均	2,695



下水処理場（大津町陣内）

### 総務

Q 総務課の職員が一名減っているのはどうしてか。

A 人事秘書係を減らしたからである。

Q 大津町のホームページがコンクールで総務大臣賞を受賞した。どこが評価されたのか。職員は特別な研修を受けたのか。アクセスしやすい構成

成や子育て支援などのコーナーの充実やキャラクターのからいもくんによる町の案内が評価されたと聞いている。職員は特別な研修は受けていない。情報計画係はもちろんだが、各課の電算推進委員会を中心に職員全員が協力した結果だと思う。

### 文教・厚生

#### 一般会計補正

Q 就労意欲促進事業の内容はどんなことか。

A 障害者施設入所者の19年度現在と18年度の負担金額等の差額を給付する国の特別事業である。

Q 障害者自立支援法施行円滑化事務等特別支援事業とはどのような事業であるか。

A 事業者と町で行っていた請求・支払い事務の一部が国保連合会をとおりて行うことになったために、国保連合会と町との間でデータの伝送通信を行うために必要な経費である。

Q 「いきいき芸術体験教室」事業の申込みはどうなっているのか。

A 各学校の申込みをとっている19年度は室小学校・大津北小学校・大



いきいき芸術体験教室（室小学校）

津中学校が希望したが今年度は室小学校と大津中学校で開催する。

#### 老人保健 特別会計補正

Q 国負担金が2860万円の追加交付の理由は何か。

A 3月に交付決定を受けたが交付率が約96・3%であったため、今回18年度の精算分として交付を受けるものである。

# 町政を問う

一般質問  
8 議員



月尾純一郎議員

## 地域における循環型社会 形成の取り組みについて 町長／環境保全にしっかりと取り 組む

循環型社会形成推進基本計画の取り組みが進められる中、環境と共生するまちづくりという観点から、①大津町環境向上基本計画を策定する考えはないか。②排出される多量の生ゴミをバイオガス化して、電気や熱として活用していく方法は考えられないか。

地球環境との共生を施策の柱として自然循環型社会形成など4項目を掲げている。現在、環境モニター家庭の活用も行って

いる。今後については、バイオマス関係の利用も検討していく大事な時期ではないかと考える。



バイオマス資源化センター（大分県日田市）

## いじめ対策の 積極的な推進について

教育長／いじめ根絶は重点事項

ますます深刻化するいじめ問題への対応が急がれる。

①第三者機関として「オンブズパーソン制度」を取り入れる考えはないか。②親教育プログラム制度の取り組みの考えはないか。③生徒の有志がいじめ根絶を目標に結成する「君を守り隊」という活動がある。取り

組む考えはないか。

宮崎教育長

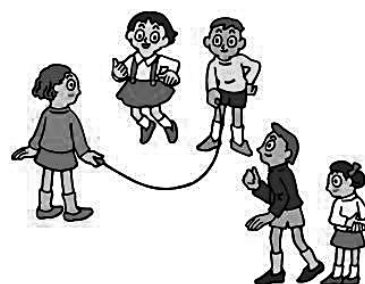
いじめ根絶、不登校の減少は、重点事項として取り組んでいる。現在実施している相談活動事業の拡大、自立支援教室（適応指導教室）の新設など全力で取り組んでいる。親教育プログラム制

## まちづくり専門課の 設置について

町長／地域の皆さんとともに幸せなまちづくりを

まちづくり協議会の設置が進められている。少子高齢社会の進展や元氣大津の更なる発展を願うとき、その取り組みが一部の地域に限定したもの

ではなく、町全体に広げるべきではないか。町にまちづくり専門課の設置の考えはないか。



みんな仲良く

度は、各地域で広がっている。

「君を守り隊」は各学校に紹介し、生徒独自の活動が実践できるよう考えていく。

家入町長

職員が地域の中に入り、皆さんの考えをしっかりと捉えながら、一緒にそこに住んでよかったと思える幸せなまちづくりをしていきたいと考えている。地域のリーダーづくり、人材づくりを目指している。今までの地域づくり推進室を企画政策課内に配置替えをし、そこで支援をしていく。

家入町長  
大津町は豊かな水資源や森林などの自然環境に恵まれている。その環境保全のために、大津町振興総合計画の基本計画で





新開 則明議員

## クリーンエネルギー対策を問う

町長／地球温暖化防止に

クリーンエネルギー対策の内容や先進地を公開して、生活面・技術面・実用性を提示していくべきではないか。休耕地や減反にエネルギー作物を

推進できる取り組みが必要ではないか。又バイオディーゼル燃料・廃食油の再利用の普及を目指すべきではないか。

家人町長

大津町独自の補助制度を立ち上げ、太陽光発電の普及・促進し町の広報やホームページで知らせていく。エネルギー作物に対しては、多種多様な課題を検討する。バイオディーゼル燃料は現在捨てられている廃食油の回収を行い、公用車などに再利用できるように検討していきたい。



平成19年10月に本格的な操業を予定されている(株)ホンダソルテック(本田技研工業(株)熊本製作所内)

## イベント・祭りの行事に活力を

町長／活気ある行事に

家人町長

イベント関係の皆さん等と曲なり選びながら検討する。相撲の土俵については顕彰会や相撲関係・教育委員会とも相談していく。体験コーナーも今後もイベント・祭りの中で取り組み、まちづくり事業の中でも検討していきたい。

## 岩戸の里と南郷往還を問う

町長／地域計画としても

家人町長

林野庁や文化庁と相談しながら開発し立野ダム関連等も今後の検討課題である。又、文化振興の

意味で大津南部地域の散策マップを検討しPRもやっていかなければならないと思う。

岩戸の里から足を運び、自然に恵まれた北向谷原始林を観察できる遊歩道が望まれるのではないかな郷往還について位置図や説明板及びコースの最

小限の確保が必要ではないか。又、岩戸の里を中心とした付近の設備や史跡を紹介し、活性化を図るべきではないか。



南郷往還の案内標柱



下町の元横綱不知火光右衛門像



郡市中体連大会で優勝した大津中女子バレーボール部（左コート）

## 義務教育と

## 部活動について

教育長／実態の把握に努め指導・助言したい



永田 和彦議員

①県大会や全国大会へ出場確率が高いという理由で町の予算を組んだ部がある。  
ある意味これは他の部に対し可能性を否定した数値化だ。

問題は能力不足の顧問や監督の実態を把握し適切指導できていない教育委員会だ。

②国の教育再生会議では、教育免許更新制や土曜日の授業再開の議論がなされているが国の判断を待つのが最も下策だ。町独自の教育政策をお聞きしたい。

③赤ちゃんポストの意義をどう生徒たちに理解させるのか。危険性を多く含んでいる。

### 宮崎教育長

①質問の部活動に関しては2年連続九州大会出場ということ、また交通費等の関係もあり本年度は初めに予算をお願いした。決して他の部活動の可能性を否定しているものではない。

部活動は非常に教育的価値が期待できるものであり生徒の興味や関心、能力や適性、そして自主性を無視したような監督や顧問ではないけない。実態の把握に努め、校長を通して指導・助言をしていきたい。

## 教育委員会は必要か？

町長／卒業認定は最終的に校長判断



教育委員会の学校訪問

教育委員会制度は、以前からその形骸化が指摘され、活性化論と廃止・縮小論が展開されてきた。中学校の現状を観察すれば無理もない、長期欠席者17年26名18年52名だ。必要性を疑うのは当然だ。

### 家入町長

教育委員会は現行の教育制度では国民の教育として必要な水準の維持と向上という観点からしても意義あるものだ。授業を受けてない生徒への卒業認定については、学校教育法施行規則により、校長の権限となっており、認定時出席日数は大きな判断材料になると思うが、明確な規定はない。本人の将来性、保護者の意思や担任等の意見も十分参考に最終的には校長が判断したものだ。町教育委員会としても校長の判断を尊重したということである。

②町独自の教育政策は、町教育の日の制定、前期・後期制の完全実施を幼稚園から県立高校まで賛同をいただき実施している。学校参観に来られた方々の意見を聞き、学校運営に生かし、授業改善や教育環境の改善等に生かしている。前期・後期制も現在では軌道に乗り、行事や教育課程の見直しにより、体験学習の

充実や学力向上にその成果が見えつつある。

③赤ちゃんポストの件で子どもたちを学習させることはない、基本的には、命は尊いからこそ、自分子どもは死にもの狂いで自分で育てる、それが当たり前のことであり、正しい性教育と命の尊さをしっかり子どもたちに学習してもらいたいと思っている。





荒木 俊彦議員

## 多重債務者の 相談窓口を

町長／人を配置し体制をとる

利息制限法を越えるグ  
レーゾーン金利が制限さ  
れる方向になってきたが、  
まだまだ多重債務に苦し  
む人がたくさんいる。国  
も、多重債務者について  
相談窓口設置を打ち出し  
ている。役場のセクショ  
ンの中で、専門的知識を  
備えた担当窓口を設ける  
べきではないか。

この6月から定率減税  
が廃止され住民税が増税  
される。また非課税措置  
がなくなり、国民健康保  
険税や介護保険料も引き  
上がる。こうした高齢者  
の負担増に胸が痛まない  
のか、とりわけ介護保険  
で要介護、要支援に認定  
された方々に、障害者控  
除の全員適用をするべき  
ではないか。

### 家人町長

役場での相談は、昨年  
7件ほどしかないが県の  
消費生活センターでは、  
大津町の方が毎年300  
人以上利用されている。  
今回、まちづくり交付  
金事業の関連で、障害者  
の方だけでなく、福祉全  
般的な相談コーナーに専  
門的な人を配置し相談体  
制をとっていく。

## 要介護認定者に 障害者控除全員適用を

町長／近隣市町と協議する

### 松永健康福祉課長

19年3月末65歳以上の  
要介護認定者数は873  
名。うち要支援1が74名、  
要支援2が134名。

障害者控除の適用の周  
知徹底を図った結果、11  
件の認定書を交付した。

### 家人町長

今まで非課税だった  
方々について、町民税が  
新たに生じてくるのは確



役場相談コーナー

かである。

要介護認定者数873  
名のうち本人課税の方が  
117名おられ、今回の  
税法改正で本人課税の方  
が増えると思込んでいる。  
今後の課税状況などを見  
極めながら、菊池市や合  
志市、菊陽町と十分協議  
しながら、問題点、課題  
を検討していきたい。



## 低所得世帯の 保育料が高い

町長／税の動向をみ  
て検討する

4月から保育料を引き  
下げられたことについて  
は敬意を表したい。

しかしながら、まだ所  
得の少ない世帯の保育料  
金は、合志市や熊本市と  
比べて高い。例えば第2  
階層の3歳未満児の保育  
料を見ると大津町が80  
00円、合志市は7000  
0円、熊本市は45000

町でも4階層までの状  
況は把握している。4階  
層まで147名のうち  
丸々保育料を払っておら  
れる方は74名であり、そ  
の他は軽減がなされてい  
る。

所得税の基準によって  
この階層が決まるが、所  
得税から住民税への税源  
移譲によって、今後はこ  
の所得税が下がるので、  
町の負担は、国の基準か  
らさらに増えることにな  
る。今年の税関係の動向  
をみて、検討を再度しな  
くてはならないと考えて  
いる。

県民の生活実態調査と  
いう新聞報道によると、  
世帯の年収が300万円  
以下が25%を超え4世帯  
に1世帯は300万円以  
下である。今の若い世帯  
の中で、夫婦で働いても  
2人合わせて年収が40  
0万円に満たない世帯も  
結構ある。



親子で仲よく

## 住宅地を流れる 農業用水路の管理について

町長／町・土地改良区、水田の受益者の責任

①里道・水路の設備については町が管理している。農業用の水の利用、管理は大菊土地改良区、

家人町長



坂本 典光議員

及び利用水田の受益者が行っている。

②防災は町の方でしっかり管理し、住民の財産・生命をしっかりと守っていかなければならない。しかし町だけで管理できるものではない。まずは大菊土地改良区、水田を持つ受益者がしっかりと水の管理をすべきである。また地域住民も協力しなければならぬ。

大津町中心部には、上井手から取り入れられた水路が張り巡らされている。本来、農業用水路だが、周辺が住宅地となり、現状としては生活用水路と化している。場所によってはヘドロがたまり、悪臭がする。大雨の時は道路へ水が吹き出すこともある。

①管理者はだれか。  
②水があふれ民家に被害を与えた時、だれが責任を取るのか。



セキの開けしめ（水の管理）はだれがするのか

## ジャスコ周辺で （商業地の活性化）祭のイベントを

町長／考えている

大津バイパスとジャスコ周辺が新しい商業地域を形成している。大津町発展のためには、今後ここを活性化させることが必要である。

町長は「明日の観光大津を創る会」の会長でもある。

つつじ祭り、地藏まつり、からいもフェスティバルのイベントを持ち込むべきではないか。

## つつじの花 来年は大丈夫か？

町長／今年は異常気象で花が少なかった

家人町長

イベントの開催については、「明日の観光大津を創る会」でいろいろ考えている。菊陽町にもサンリー寿屋を引き継いでジャスコができています。一時は大津のジャスコは撤退するかもしれないといううわさがあつたが、幸いにして菊陽よりも大津の方を残したいようなお気持ちのようです。

今後ジャスコを愛し、また地域住民の皆さんに愛される店となるように周辺整備が必要と思う。

大津町は「日本一のつつじの里」づくりを進めている。

今年のつつじは咲きが悪かった。（昭和園、日吉神社、大松山）  
原因は分かっているか。

家人町長

今年の1月、2月は気温が高かった。逆に3月4月は気温が低かった。異常気象で、花の咲く前の花芽が落ちたのではないかとと思う。

また春先に害虫が多く発生した。消毒はしたけど花芽をその害虫に食われたのではないかと思う。これらは管理している業者の共通した意見である。

ヒラドツツジの咲きが悪かった。それはヒラドツツジが寒さに弱いからだと思われる。

いづれにしても今年の管理は徹底をしていきたいと考えている。





鈴木ムツヨ議員

## 放課後の子どもへの 支援対策は

教育長／今年1年は条件整備を

放課後子どもプランは、文部科学省の放課後子ども教室推進事業と、厚生労働省の放課後児童健全育成事業（学童保育）の2つの総称で、すべての小学校2万箇所を実施を目指すと言われるもの。このプランが実行されると週2～3回午後5時位まで学校に残ることになる。小学生は1年～6

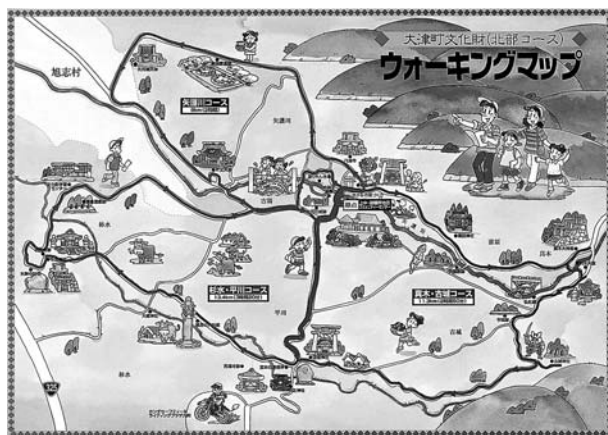
宮崎教育長  
取り組む方向で検討。希望者全員を対象に受け入れる。県の要項では下校時の対策が考えられていない。学習指導は緩和され大学生や教職OBでも良いことになる。しかしすぐに対応できるだけのボランティアが集まるかどうか等もありしつかり条件整備していく。

学童保育はおやつがあり指導員が宿題をみたり遊び相手をし保護者が迎えに来られるのをチェックしている。利用生徒はおやつ代を払っている。2つの組み合わせはとも無理があり作らなくてもいいのではないか。

年までかなり体力の違いがある。更に勉強も教える事になる。学校嫌いが増えるのではないか。ボランティアや指導者の確保、先生達への依存、冬場下校時の対策は、室小・大津小で縦の関係で遊べる状況を作りたいという趣旨は、どう組み合わせられるのか。

ウォーキングは、何の気兼ねもなく、気楽に付きあえる運動として、人気ナンバーワンである。北部・中部・南部に分け名所旧跡を取り入れ通学路の整備も兼ねたものであれば子ども達との交流もあり、大変有意義である。取り組む考えは。

## ウォーキングロードの整備と ウォーキングマップの作成を 町長／作っていききたい



ウォーキングマップ（北部コース）

家入町長  
マップは北部地区だけある。中心部や南部も作りたい。道路整備も進んでおり、文化財を兼ねたウォーキングも楽しみたいと思われる。本年度大津町健康づくり推進計画と健康づくりに対する相談コーナーに取り組む。

## 少子化対策と 母子家庭への支援は

町長／相談コーナーを充実

合計特殊出生率が06年は1・32と上昇したが、産む世代の女性人口が減少しているの赤ちゃんと少なかった。政府は抜本的な少子化対策を急ぐ方針とある。治療を受けて出産された方が沢山おられるが多額の費用が必要である。母子家庭に支給する児童扶養手当も減額される。生活保護の母子加算も19年で一部廃止、21年で全額廃止になる。県は限定で不妊治療助成がある。町の支援策は考えられないか。

家入町長  
不妊治療費に係る費用助成は県の事業です。不足分を検討する余地もあるのではないかと思います。生活保護の母子加算が廃止され、また児童扶養手当も減額となる。加算も含めた保護基準は中位の所得の母子世帯消費水準と比較しても高く、加算は妥当とは言えない。（専門委員会）支給要件や支給金額が見直される。相談コーナーをしつかり充実させて保健師の方で検討していく。



## 総合体験学習の 実態を問う

教育長／3年生以上が体験



手嶋 靖隆議員

人間と自然文化のふれあいを通じて、児童、生徒の豊かな人間性を養う体験学習により、充実した豊かな心と実践力を身につける人間形成の上で、総合体験学習は、当然重視すべき教育課程である。今後の構想と取り組みの実態について教育長に伺う。

### 宮崎教育長

これまでの学校教育は全国画一に学校の現場において実践されてまいりました。行政は時代の変化に対応し地域の実情に沿った創意工夫をし、変化しつつある中にも現実には青少年の非行、いじめ、家庭内での暴力など、親子の連帯意識が希薄となり、深刻な社会問題と発展してまいりました。その原因は、詰め込みの教育と塾通いの教育とが、心にゆとりのない教育にあるのではないかと、また、

14年に総合的な学習の時間が本格導入された。目的は、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てることである。内容的には国際理解、情報、環境、福祉、健康、地域、文化等、生活の興味関心に基づく課題を地域や学校の特色に応じて、自然体験や、ものづくり、

ボランティア、社会体験、視察実験、発表や討論、様々な手法で、積極的に問題を解決していく学習である。本格導入して4年が過ぎた。大津町の子どもたちは、この総合的な学習の時間を、生き生きと活動している。今後、小中学校ともに時代に合った大切な学習として、力を入れていきたいと思う。



きれいに植わったかな（大津東小田植）

## 公園整備と遊休地の 活用を問う

町長／半数以上が地域で管理

### 家人町長

本町には都市公園が10と町公園が6箇所、それに各部落の鎮守の森、広場を合わせると80以上の公園がある。特に地域における鎮守の森、広場関連等で半数以上が地域の方で管理運営されている。

行政として地域の皆さんと一緒に、地域担当職員を配置して意見交換し、地域の皆さんと財政的問題等を検討しながらやっていただく、それが地域の役割であり大津町に住んでいる責任と義務だと思う。



美咲野公園登り口

現在、公園の現状を見ると概ね手入れができていて管理も良好で十分活用されている。しかし美咲野中央公園内の芝生の土砂の流出跡の補修整備がされていないので、土砂の流出が拡大しないように早急に点検整備に取り組んでいくべきである。また、本町は、つつじの里づくり日

本一を目指している中、団地南登坂道路沿いの公園と右側の遊休地につつじを植栽していないので環境整備の一環として必要と思う。また、児童生徒の通学沿いの公園に夕立などの一時休憩に施設を設置し、福祉、環境美化の一体化を図ることが肝要である。

し、支援がどの程度までやれるのか、何を地元で協力していたのか検討して今後、管理運営に努め区長、地域担当、専門家等、しっかりと相談しながら進める。





藤森昭二朗議員

## 大津中学校前の県道の車の渋滞について

町長／検討しながら進める

大津中学校前の県道から国道57号線までの車の渋滞がひどい。早急な解決を図るべきではないか。①与えられた条件で右折レーンの設置を。②大津高校裏より県道矢護川熊本線との連結を。③ベスト電器東側の道路の整備を。

るもの、町独自でやるもの等財政的な問題もあるので、検討をしながら、やれるものからやらなくてはならない。町の交通体系等も十分に検討し、計画をしていく。県道西

鶴中井迫線の陣内方面への延長など南への道路渋滞の解決を考えている。



大津バイパス香梅前交差点

## 小中学校の各学級に新聞コーナーの設置を

教育長／図書室には常時配置している

町内の小中学校を見ると子ども達が自由に新聞を読めるコーナーが少なく思う。子ども新聞、農業新聞、スポーツ新聞、全国紙、地方紙等いろんな新聞がある。休み時間、昼休み時間、放課後等、気分転換に勉強に、人間形成に必要ではないか。

宮崎教育長

休み時間等に新聞を読んでも、それを教師と児童・生徒がお互いに話し合うことは望ましいと思う。しかし、一概に休み時間を全部の子どもが新聞でというのは無理がある。ただ、新聞自体を教育の中に取り入れていく

ということでは大切だと思う。全国的には、高校生を対象に新聞を教材にするNIE教育という考え方を推し進めている教師集団もある。大津町では、朝の視写の時間の中で新聞の記事を書き写すという活動をしたり、各教室では新聞係が今日の記事でよかったものを切り抜きて貼ったり、朝の会で発表したりしている。

各学校とも図書室等には常時配置して、児童生徒が興味があればいつでも読めるようにしている。

## 公園の植木の消毒について

町長／大津町は自然環境保全の町

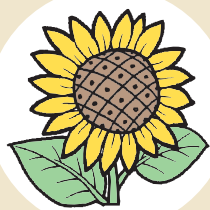
町には五十数ヶ所の公園がある。美しく保つために草には除草剤をかけ、木には消毒をしている。そこには小鳥の餌となる虫も住んでいるため一時は絶滅の危機となった鳥もいる。自然は循環している。自然環境に配慮し、小鳥も住み易い公園の管理を目指すべきではないか。

家入町長

公園は住民の野外における休息や観賞、遊戯や運動、その他レクリエーションの利用に供するとともに都市環境の整備及び改善、災害時の避難等に資するもの。自然環境を保護するという立場でできるだけ農業関係等を使わない方向で、自然の力で生きていける土壌も今後検討していきたい。



花と緑の昭和園

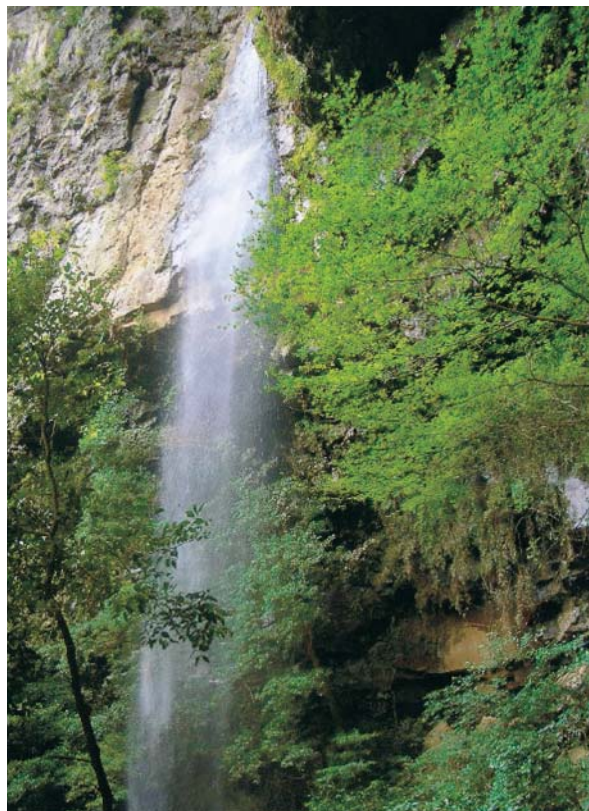


# 大津町の宝 岩戸溪谷



## 自然の造形美 岩戸溪谷

岩戸の里温泉から案内板に従い東へ進むと岩戸溪谷登り口に着く。しばらく進むと、三の滝、二の滝が現れ自然の中の水の流れに変化と勢いを感じる。三十分位進むと歴史のある岩戸神社が現れ、ここは岩のドームとも思われる自然の造形美を体感する。目前に水音と共に一の滝の水柱に感動する。天候と条件しだいでは水柱付近に鮮やかな虹のかけ橋を見る事ができる。町の秘境の地とも言える溪谷である。



美事な一の滝

いろはにほへと ㊦

“ら” 楽あれば苦あり

楽あれば苦ありというのは、富める者・身分の高い者が、貧しい者・身分の低い者をなぐさめる言葉だが、金がたまりすぎて、めすまれては大変と苦勞をしているということなら、そんな苦勞はぜいたくだといえる。それにしても、楽あれば苦ありなら、苦あれば楽ありとなるのが当然だが、世の中、なかなかうまくいなくて、苦める者に楽がめぐってくることは少ない。

### 編集後記

梅雨明けがもうすぐの様ですが、雨による被害がなく、降るべき時期に十分な地下水の蓄えが出来る事を祈っています。大津町は自然からの大切な飲料水の贈物に恵まれておりますが大切に使い続けなければなりません。町では企業進出・都市計画道路の見直し・通学校の区画検討などが課題となつていますが、いずれにしましても住んで良かったと言える町に発展

### 議会広報編集特別委員会

委員長 荒木 俊彦  
副委員長 鈴木 ムツヨ  
委員 坂本 典光  
委員 月尾 純一  
委員 新開 則明

していく事が全町民の願いであります。今回から表紙の花について、おたずねがよくありますので解説を記載する事にしました。お役に立てばと思います。  
(新開)

### 表紙の解説

樹木名 キンボウジュ  
(金玉樹)  
科名 フトモ科  
属名 カリステモン  
属

常緑広葉低木で2〜3m程度になり横にも広がる。原産地はオーストラリアで国内では関東南部以南の暖地が適地で庭植用であり花期は5〜6月で白い花の咲く品種もある。花の形がいかにもブラシに似ているのでブラシノキとも呼ばれている。